

私達はキリスト教精神に基づき、世界の困難な状況にある子ども達を支援する NPO です。

いつも、タイ・カンボジアの子ども達をご支援下さり、本当にありがとうございます。今年も8月9日～14日まで、6名のメンバーでカンボジア・ポイペトにあるハッピーホームを訪れました。カンボジアは2年ぶりの訪問となりました。6名のうち4名が学生さんだったので、現地での活動はとても活気あるものになり、子ども達と共に十分に楽しい時間を過ごすことができました。

また、カンボジアの社会状況、特に教育の場では、学校が予告なく休校になってしまうなど、学びたくても、学べないことが頻繁にある現状も知ることができました。ハッピーホームの子ども達の教育の改善、またスラム地域の学校に通う400人以上の子ども達の教育と大きな課題があります。a cup of water ではこのような現状をふまえ、将来を担う子ども達のために特別教育支援を行うことに決めました。（最終ページ参照）

今回の訪問でも、チームの皆さんは、それぞれにとっても良い体験をされたようです。次ページからのレポート、是非お読み下さい！！



a cup of water の HP、または Facebook より、カンボジアツアーをまとめたビデオ（8分間）を見ることができます。是非ご覧ください！！

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井4丁目23-24

ニューライフキリスト教会内

TEL&FAX 075-962-4249

E-mail info@acupofwater.jpn.org

HP http://acupofwater.jpn.org

facebook

現地から届きたてのニュースや子ども達の写真、動画もUPしています。子ども達を身近に感じていただけるよう工夫していきますので、皆さん、「いいね！」お願いします☆

<https://www.facebook.com/acupofwater.friend>



カンボジア ハッピーホーム

訪問レポート

1

福原 みどり（スタッフ）

<再会> 出発の2週間前、施設長のローズさんから、目まいが止まらず検査を受けると聞きました。結果、耳の感染症だったらしく安静が必要だとのことと再会をあきらめていました。バンコクの空港でスタッフのジャンタニさんを待っていると、向こうから何とローズさんの姿が！お元気な姿を見て思わず涙が出てしまいました。数十分の再会を皆と喜び合いました。

<再会その2> 2年ぶりのポイペトの町は、少し発展したような印象を受けました。ホームの前の道路は、デコボコ道が舗装されようとしています。ビルも建っていました。到着日、5時30分のハッピーホームの夕食に間に合い、子ども達と再会できました。私達を覚えている？との質問に「はい！」という大きな声が響きました。

<交流> 私達のできることは、いつも万国共通の「遊び」です。浴衣を着て写真撮影、ゲーム大会など大盛り上がりでした。

<スラム地域> ホームから車で15分のところにスラム街があり、数年前ローズさんは小学校の働きを始めました。それがMMF スクールです。現在では、小学校1～6年生までの420人が学んでいます。授業料は受け取っていないそうです。私達は大運動会を企画し、子ども達とアメ食い競争、大なわとび、最後はリレーでしめくりました。「普段はなかなかできない遊びです」と先生方にも喜ばれました。

<子ども達の今後> 沢山の子ども達と接し思わされたのは、彼らはこの町の光・将来だということでした。でも、彼らが光り続けるには、やはり周りのサポートと守りが必要なのだと思います。経済面のサポートだけでなく、私たちが行動を起こす事の中に相まって見えてくるものがあるのではないのでしょうか。ホームでは、18才が卒業です。彼らのこれからが、明るいものであるよう心から祈ります。



★ 工事がやっと始まる道

★リーフレット（表紙）のソムナン君が成長しました



★ ゆかたの女の子達&結愛さん

★ノートパソコン6台を寄贈しました

2 宮野 ベッキーさん（社会人）

私は高校生の頃からずっとハッピーホームに行きたいと思っていました。今年、ハッピーホームの訪問を知り、わくわくしました。ハッピーホームに行く前にはチームの皆と何回か会って話し合いをしました。7・8月になるにつれて私はこの旅の事を真剣に祈り始めました。神様が私達チームを一つにして子ども達に神様の愛を伝えることが出来るように。神様の栄光になるようにと。



カンボジアに着いた時は夢のようでした。今まで見て来た写真がリアルになりました。子ども達やスタッフの顔を見た時、すごく嬉しくなりました。今でもその気持ちを覚えています。

皆は私達を笑顔で迎えてくれました。その時に神様の愛を感じました。神様も私達をいつも笑顔で迎えてくれてるんだなと思いました。毎日のスケジュールが楽しみでたまりませんでした。低学年の子ども達と夏祭りをし、たこせんをを作りました。ソース、青のり、それから天かす。彼らは食べたことがないので、最初は分からなかったのですが、大好きでした。ある子は4・5回おかわりをしました。美味しそうに食べてる顔が可愛かったです。5日間はあるという間に過ぎました。

一番印象的なことは、子ども達との時間でした。会話するのはいつも片言でした。なので、顔の表情でお互い見合っていました。一緒に遊んだり、笑ったり、話したことが幸せでした。最後の晩に子ども達が祈ってくれました。その間、1週間の思い出が頭の中に溢れ、一人一人の顔が浮かびました。世界中に兄弟姉妹がいることは神様からの宝物です。ハッピーホームの皆に、愛、優しさ、それから寛大さを学びました。私もこれから色々な人にそれらを与えたいです。子ども達に会えて心から感謝です。また行く機会があれば是非行きたいです。ハッピーホームのみんな、大好きです。



ローズさんはスラムで学校の働きもしています。
スラムにある小学校にて、運動会をしました。

3

森本 めぐ美さん（短大生）

私がなぜカンボジア訪問に参加しようと思ったのかと言いますと、今年私の行く教会のイベントでは、ユースキャンプにもキッズキャンプにも学校があり参加出来なかったのですが、偶然にもカンボジア訪問の日程だけが夏休み初日からで、これはもう行くしかないと言われているのではないかとこの感覚がしました。来年からは社会人ということもあり、これからの自分についてもう一度見直す良い機会になると思い、行く事を決断しました。3年前にタイ

のハッピーホームを訪ねましたが、今年はタイとは違ったホームを訪問できて良かったです。

4日間子ども達と深い交流をし、一生忘れられない時となりました。子ども達は神様からの溢れるほどの愛を受けていること、神様が本当に大好きなことが伝わりました。神様に対する彼らの姿勢がとても印象に残りました。本当に純粋な心で賛美し、礼拝している姿を見て、神様が求めているのはこんなシンプルな事なのだと気づかされました。あんな笑顔で幸せそうな子ども達を見ると、「親がない子」とは思えません。心に傷を負っているはずなのに。なぜか皆を幸せにする力があって、人に優しく出来る心があって、神様の恵みなのだと感じました。子ども達との交流を通して神様の存在を強く感じる事が出来ました。

カンボジアは物的、環境的には日本よりはるかに劣る所はたくさんありますが、人間として本当に大切なものをもっていました。この訪問では、彼らから沢山の気づきを与えられました。一番印象に残っているのは、最後の礼拝の時です。私達はしょっぱなから寂しさと離れたくないという気持ちに襲われ、すぐに泣いてしまいました。子ども達はそんな私達を見てにこっと笑いかけてくれました。しかし、私達が「君は愛されるため生まれた」と歌うと、女の子達、男の子達が涙を見せました。それを見てまた私達も号泣です。最後の祈りの時では小さな子から高校生まで皆で泣きました。すごく悲しい涙でしたけど、なぜか私の心は喜びで一杯でした。言葉は上手く通じなくても住んでる場所、文化の違いがあっても信じてる私達の神様を通して繋がれている感覚がしたからです。神様は本当によいお方だと強く思いました。今、私が居るのはカンボジアではなく日本です。今この日本で私が出来ることを一生懸命にしたい。今置かれてる場所で神様の為に仕えていきたいと思っています。神様は本当に意味のあることを想像できないような形で与えて下さいます。この経験はこれからの私の人生になくってはならないものになっていくはずですよ。

4

ゆうあ
吉田 結愛さん（高校生）

私は今回カンボジアのハッピーホーム訪問は2回目です。2年前に初めて訪問した時は、中高生がキャンプに行っていた為、少しの間しか一緒に過ごすことが出来なかったのですが、今回は彼らが居ると聞いてとても楽しみにしていました。2年前に行った時は、子ども達と少しは英語でコミュニケーションがとれるこ



ローズさんと

とを知って、この2年間英語を勉強したので中高生と英語で話せたことが大きかったです。子ども達と言っても、高校生は私と同じ年なのでどちらかというと友達感覚で仲良くなれたのが嬉しかったです。

前回、洪水被害で行けなかったスラムの小学校に行って440人の子ども達と運動会が出来たのがとても大きな経験になりました。他にも用意してたゲームをしたり、賛美をしたり、一緒に楽しむ事が出来て感謝でした。でもやっぱり今回も、与える側でありながら、はるかに多くのものを受けて帰ってきました。言葉はあまり通じなくても、純粹で今を精一杯生きている子ども達の笑顔を見ると神様の愛が確実にそこにあって、自分からも愛が溢れて来て、神様の家族であることがどれほど大きな喜びであるかを心で深く感じました。言葉では上手く言い表せないけれど、考えただけで涙が溢れてきてどうしようもなくなる体験をこんなにもすることができて感謝で一杯です。

日本に帰ってきても子ども達の笑顔を思い出すと元気が出てきて、どんな事でも頑張れる力になってます。今回の訪問を通して、本当に深い神様の愛と、全てが計画の内にあって実を結ぶということを改めて心で感じる事が出来ました。またこれからもこの活動に関わり続けて行きたいし、自分に出来ること考えて行きたいです。そして私も自分に与えられてる今を生きようと思いました。



5 赤松 まいさん（大学生）

私は今回で2回目のカンボジア訪問でした。前回訪問した時は、ホームの大きい子達がキャンプに行ってしまう関わることが出来なかったのですが、今回は長く時間を共にすることが出来て、本当に仲良くなる事が出来、家族のような存在になりました。みんな2年前に比べるととても成長していて、コミュニケーションが取りやすくなっていたので、深く会話することが出来てとても嬉しかったです。

私は今回カンボジアに行くつもりではありませんでした。大学3年生ということもあり、インターンシップに行こうと思っていたからです。でも、ある一週間、カンボジアのハッピーホームの皆に会いたくて仕方がない週がありました。そして、みどり先生や、牧師先生にも話をして親にも話し、祈って行くこ

とにしたのです。その時、神様が私をカンボジアに導いて下さったことを本当に感謝しています。ハッピーホームの子ども達の自然にくれる笑顔や優しさには不思議に思ってしまうほど愛が溢れていて、それが神様からきていることを強く解らせてくれます。子ども達のことを思うと、本当に神様は素晴らしいものをお創りになられたのだと思います。人を通してこんなにも神様に「ありがとう」と思ったことは初めてで、自分でもこの気持ちをどう伝えてよいのか分からないほどです。

今回の旅の中で数々の素晴らしい神様の計画があり、それを知ることが出来、そしてそれらは本当に想像も出来なかったものでした。さらにもう一つ、神様の計画して下さった道を進んで行けることがどれだけ素晴らしいものかはっきりと分かる、自分の中でもとても大切なものとなりました。大きく成長させてくれる第三の家のハッピーホームに私はこれからも行き続けたいです。



♪子ども達と「たこせん」作り

♪スタッフのソムさん、ポーズ！



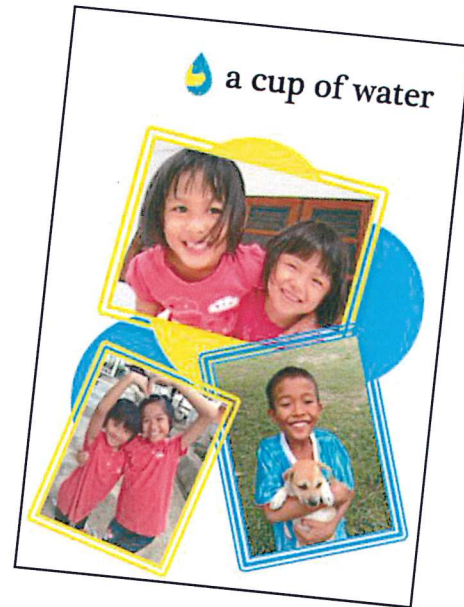
♪浴衣を着て喜ぶ子ども達



ホームの大きい子ども達と
アンコールワットへ！

a cup of water
クリアファイル できました！
ご注文お待ちしております！

子ども達の輝く笑顔とポップな
デザインが可愛いクリアファイルが
完成しました！ →
子ども達をより身近に感じて
いただけるグッズです★
利益は支援のために用いられます。
1枚 ￥300（税込）。
遠方の方も送料￥120で送付可。
ご購入希望は福原・山本まで
いつでも、お知らせ下さい。



（デザイン協力：宮本愛さん）

カンボジアツアーの報告会 a cup of water DAY を開催します。

日時：10月25日（日）会場：ニューライフキリスト教会
午後1時半～2時半 カンボジア報告 写真&動画
2時半～3時 ティータイム&グッズ販売
○会員ではない方も、大歓迎！ 是非、皆様ご参加下さい！

【特別支援のご報告】

このたび、カンボジアの教育への特別支援として a cup of water より
100万円の特別支援を行うことができました！

- カンボジア ポイペトホームの子ども37名の私立校学費 37万円
- カンボジア スラム地域の子ども420名の教育 63万円
- ★ 公立の学校は教育の質や先生の態度が極端に悪く、大きな問題があります。私立校では将来に必要な教育を受けることができます。
- ★ スラムの子ども達は学校に通うことによって、教育を受けられるだけでなく、人身売買や暴力などの危険から守られます。

～ a cup of water 会員大募集中～

賛助会員：会費 1500円/月 一般会員：会費 5000円/年
月1500円の支援で子ども達の約1カ月分の食事代になります。
その他、タイやカンボジアの子ども達が学校に通う時の制服代などに
用いられます。まだまだ大きな必要があります。
お支払方法は、月々の封筒またはゆうちょ自動引落、銀行振込、
郵便振替が可能です。支援のお申込み、お問い合わせは事務所まで
お気軽にご連絡下さい。（担当：福原みどり、山本佐織）